



# 保健師だより



## ～がん検診 愛する家族への 贈りもの～

新聞、テレビ、インターネットや雑誌などで健康に関する情報を目にしない日はないほど、私たちの日常の中には健康に関する情報が氾濫していますが、誰にでも気軽にできる健康づくりは毎年検診を受けることです。

2人に1人が一生のうちに「がん」と診断され、3人に1人が「がん」で亡くなりますが、働き盛りの年代で亡くなる場合は半数以上が「がん」での死亡です。

国ではがん検診の受診率の目標を50%に設定していますが、佐井村はどうでしょうか。

	肺がん検診	胃がん検診	大腸がん検診	前立腺がん検診
受診率	27.5%	19.8%	24.3%	26.5%

数年前は20%未満を推移していた受診率も徐々に増加しつつあります。

### ===地区別受診率===

	肺がん検診	胃がん検診	大腸がん検診	前立腺がん検診
1位	福 浦 (47.6%)	福 浦 (37.0%)	長 後 (41.3%)	長 後 (45.0%)
2位	長 後 (46.7%)	磯 谷 (32.7%)	磯 谷 (34.0%)	磯 谷 (34.0%)
3位	牛 滝 (44.4%)	牛 滝 (31.1%)	牛 滝 (33.3%)	福 浦 (29.4%)
4位	磯 谷 (43.0%)	長 後 (30.4%)	福 浦 (29.8%)	牛 滝 (28.1%)
5位	川 目 (31.8%)	古佐井 (17.7%)	古佐井 (25.5%)	川 目 (26.3%)
6位	古佐井 (27.5%)	大佐井 (16.9%)	大佐井 (21.1%)	矢 越 (26.2%)
7位	原 田 (18.3%)	原 田 (15.2%)	原 田 (17.5%)	原 田 (25.4%)
8位	大佐井 (18.2%)	矢 越 (11.9%)	矢 越 (17.3%)	古佐井 (24.2%)
9位	矢 越 (18.2%)	川 目 ( 6.8%)	川 目 (12.2%)	大佐井 (23.3%)

がん検診の種類や地区によっても違いはありますが、磯谷・長後・福浦・牛滝地区は毎年受診率が高く、若い頃から続けて受けている方が多いことから健康意識の高さが伺えます。

青森県が短命県である大きな原因は、40代・50代での死亡率が増えてくることにあります。若い世代ががん検診を受けて早期発見・早期治療につなげることが、短命県返上のための大きなポイントです。

### ●●●今年度の集団検診を受けることができなかった方へ●●●

40歳以上の方は、胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん検診を大間病院で受診することができます。

また、職場検診の項目にがん検診が含まれていない場合も、ぜひ受診しましょう。

## 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種助成について

高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種は、昨年10月1日から定期接種となりました。予防接種を受けて、助成金申請書を提出していない場合は、平成27年3月31日(火)までに提出してください。

※21年度から25年度に接種した方は、助成対象外です。